

2025年12月22、23日 調査
2025年12月23日 発行

表層DIN濃度は東部海域で概ね2~5 $\mu\text{mol/L}$ 、西部海域で概ね1~3 $\mu\text{mol/L}$ で推移しています。大型珪藻のコスキノディスクスワイレーは東部海域、西部海域ともに発生は少なめ、ユーカンピアゾディアクスは西播沖の定点で確認されました。今後の海域の栄養塩濃度は現状維持程度と考えられます。

- $$\mu \text{ mol/L} = \mu \text{ g} \cdot \text{at/L} = \mu \text{ M}$$

白浜以西: 12.5 ~ 14.2, 家島諸島周辺: 14.3 ~ 15.6, 江井ヶ島・高砂周辺: 13.9 ~ 14.7, 明石海峡付近・西浦: 15.1 ~ 15.6, 鹿ノ瀬周辺: 14.9 ~ 15.2



